

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 事業名 | 山下町地区多世代交流実践事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 株式会社 和が家 75-2606 |
| 事業区分 | (8) その他 地域の元気を生み出す地域作りに資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 5,770,000円 (うち支援金: 4,352,000円) |

事業内容

- ◎地域作りワークショップの開催
6月～8月 座談会 開催3回
9月～11月 子供カフェワークショップ 開催3回
12月～3月 今後についてのワークショップ
- ◎コミュニティハウス「あんとキッチン」完成
木造建のトイレ、電気、水道、ガス設備を備えたコミュニティハウスの完成
- ◎毎週水曜日にコミュニティハウスの開放
- ◎イベントの開催 3回
- ◎あんとの食卓 (子供カフェ) の開催
- ◎あんとリビングの貸し出し



【

【目標・ねらい】

- ① 多世代交流拠点の実践
- ② 住民参加
- ③ 子供カフェの開催
- ④ コミュニティハウスの建設

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ◎ワークショップの開催
目的別に分けてワークショップを開催。子供カフェについてはカフェや食堂ではなくいつも通って (開放日に) きてくれ子を中心とした食卓とした「あんとの食卓」の開催に結びついた。
- ◎コミュニティハウス「あんとキッチン」完成
11月に完成、12月にお披露目会の実施。キッチン、トイレがついたので利便性が向上し地域の拠点に。
- ◎あんとの食卓
3月の春休みに開催し21名の参加
- ◎あんとリビングの貸し出し 31回

※自己評価 【 B 】

【理由】

多世代交流拠点ができたことで、地域住民への少し周知理解が得られた。取り組みをもっとわかりやすく敷居を下げての今後の周知を図りたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

コミュニティハウスの建設と、地域住民とのワークショップを行い「あんとの食卓」の開催に結びついた。今後もコミュニティハウス2棟の運用と、多世代交流拠点の目的を具現化していくためにお年寄りから子供まで、施設利用者の社会参加や活動に結びつけるように話し合いを行い地域とともに一つずつ形にしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)